

大宮通信

大宮中学校 学校だより
第114号 2026.3.16

美しく見える行動



本日、前期専門委員の認証式を行いました。認証状を受け取った皆さんには、これからの学校生活をよりよくしていくために、責任をもってその役割を果たしてくれることを期待しています。

また、各学級でも新しい係や委員が決まっていると思います。学校は、一人ひとりが何らかの「役割」を果たすことによって成り立っています。だれかにやってもらうのではなく、「自分がやる」という意識が大切です。

皆さんの、学級を、学年を、そして学校をよくしていく活躍を楽しみにしています。

さて、本日の全校朝会では、「躰」という漢字を紹介して話をしました。「しつけ」と読みます。この言葉には、人として成長していくために、礼儀や生活習慣を身につける、という意味があります。

あいさつをすること。交通ルールを守ること。人が集まる場でのふるまい方。また、早寝早起きや食事の作法など、健康的に生活するための習慣も含まれます。人は家庭や学校で、こうしたことを教わりながら成長していきます。

ところで皆さんは、「しつけ系」というものを知っていますか。

新しい服を買ったとき、ポケットやえりに細かい糸がついていることがあります。それが「しつけ系」です。形を整えるために、一時的につけられている糸で、きれいな形を保つための大切な役割をしています。

しかし、そのままにしておくものではありません。服を着るときには外します。

この「しつけ系」のついている状態は、小中学生の時代といえると思います。

あいさつをしよう。時間を守ろう。くつをそろえよう。人の話をしっかり聞こう。

うまくできないときもあるかもしれませんが。それでも続けることで、やがて当たり前になります。そして最後には、誰に言われなくてもできるようになる。

それが、本当の「躰」です。

「躰」という漢字は、「身」を「美しくする」と書きます。行動が整うことで、その人は美しく見えます。そして、人としての信頼も高まっていきます。

中学生である今の時期は、自分自身を美しくしていく行動を身につける、とても大切な時期です。日々の小さな積み重ねを大切にしていきましょう。